



群馬県立がんセンターだより

第23号

発行 平成25年2月 群馬県立がんセンター

理 念

私たちは、患者さんの意思を尊重するとともに地域と連携し、高度のがん医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重します。
2. 地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
3. 教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

「新たな課題に向かって」

平成25年も既に2月に入り、平成23年4月から事務局長として赴任した私にとっては、早くも2年が過ぎようとしています。

群馬県立がんセンターは、平成19年5月に新病院として開院し、「患者さんの意思の尊重、地域との連携、そして高度ながん医療の提供」を理念とし、県内唯一の「がん専門病院」として現在500人以上のスタッフで運営されています。

近年では、年間延べ20万人近くの患者さんが入院や外来で当センターをご利用いただいています。患者さんからは、「明るい病院。スタッフがやさしい。」というようなお褒めの言葉をいただく一方、「待ち時間が長い。説明が足りない。」というような厳しいご意見もいただいています。

当センターに来られる患者さんは、がんと診断された時から病気による身体的な苦痛だけでなく、ほとんどの方が精神的な苦痛も抱えていらっしゃると思います。そのような気持ちを少しでも和らげていただけるよう、直接患者さんと接する医師、看護師による診療・治療はもちろんのこと、受付、検査など各部門のスタッフもそれぞれの業務の中で、患者さんの視点になって、分かりやすい説明や丁寧な対応を心掛け、日々実践しています。

このような日々の意識の醸成に加え、当センターの機能の充実を図るため「緩和ケア病棟」の建設工事と最新の放射線治療機器である「リニアック」の更新整備が、今ほぼ同時に始まろうとしています。

特に、「緩和ケア病棟」は、がん専門病院に求められる施設であり、東毛地域初の病棟として整備され、その機能として患者さんの様々な痛みを和らげるための「(仮称)疼痛センター」が併設され、地域の医療機関との連携を積極的に図っていくこととしています。

この実現には、群馬県がん対策推進条例の制定(平成22年12月)により緩和ケア病棟整備が県の責務と位置づけられたことが追い風となり、県病院局と一体となり取り組んだ結果、予算化が認められ、工事開始と運営のための職員体制の充実が進もうとしています。

総務課、医事課、経営課の3課で構成される事務局は、様々な患者さんの悩みや相談に対応する「総合相談支援センター」、他の病院や医療機関との調整等を行う「地域医療連携室」と一体となって、この課題に向けて取り組んでいくこととしています。

事務局が担う役割は、幅広い視野で院内の各部門との調整を進め、さらに各部門が抱える課題解決のための方策をともに考え、積極的にサポートしていくことだと言えます。

このような事務局の役割をスタッフ一人ひとりがしっかり理解し、院長のリーダーシップのもと、これらの課題解決に向かって積極的に取り組んでいきたいと思っています。



事務局長 服部芳幸

地域で緩和ケア医療の中心となる病院を目指して

～がんセンターに緩和ケア病棟（H26 年度開棟予定）を整備します～

治療技術の進歩により、「がん」は治らない病気から治る病気へと変化しています。反面、治療技術の進歩に伴う生存率の向上は、がんによる痛みや後遺症を抱えながら生活する患者さんの増加を促し、その様々な症状を和らげるための治療やケア（緩和ケア）が必要とされるようになってきました。

抗がん治療（積極的治療）中は緩和ケアは行わない、また、終末期の患者さんだけが対象となる、という根深い考え方（誤解）がありますが、緩和ケアは、がんと診断されたときから始まり、治療とともに心や体の苦痛に直面した患者さんを支える医療として多様化しており、大きく変化しています。

特に緩和ケア病棟は終末期の患者さんのみが対象となるイメージが強いのですが、抗がん治療は行わないが、その合間に体を休め、ケアをする場としても利用され始めています。

県立がんセンターでは、そのような現状を踏まえ、緩和ケア体制の更なる充実を図るため、東毛地域では初の緩和ケア病棟（平成 26 年度開棟予定）を整備します。

当センターの特徴としては、木のぬくもりを感じる施設、先進的な疼痛治療を行う外来など、利用者（患者さんやその家族）視点を重視するとともに、地域の医療機関との連携強化につながる病棟機能を付加して整備します。



※ 平面図など、詳細はこちらを参照してください。→ <http://www.gunma-cc.jp/sonota/kanwa.htm>

【施設概要】 2階建て木造（一部RC構造）、25床（全室個室、トイレ付き）

【病棟理念】 貴方の尊厳を守り貴方らしく過ごせるよう、私たちは最善をつくします。

【特徴】 ① 患者さんとその家族の視点を重視

- ・ 県産木材を活用し、木のぬくもりが感じられる施設
- ・ 病室は、土を感じられる1階に配置
- ・ 片廊下とし、患者さんのプライバシーや住環境に配慮

② 疼痛センター（仮称）を設置し、外来で先進的な疼痛緩和治療を実施

③ 地域の医療機関等との連携推進のため、本館とは別に相談室を整備

④ 患者さんの身体機能の維持・向上を図るため、リハビリ室を整備

【その他】 東毛地域で初の緩和ケア病棟を整備した病院になります。

部署紹介

医療安全管理室

医療安全管理室は、室長である鹿沼副院長を中心に、医療安全推進者であるゼネラルリスクマネージャー、事務局及び事務職員で構成されています。

私たちは、患者さんが安心して安全な医療を受けられるように、様々な取り組みを行っています。

現在、入院・外来を含め1日に約600人～700人の方ががんセンターを利用し、多くの治療や処置、検査などが行われています。医療の中では、「ヒヤリ」としたり、「ハット」した事例や不慮の事態（事故）が発生することがありますが、医療安全管理室では、これらの事例を収集し、集計・分析を行っています。分析結果は、事故の再発を未然に防ぐために各部署へフィードバックし、それぞれの部署のリスクマネージャー（医療安全担当者）と連携、協働し、対策に取り組んでいます。

毎月、リスクマネジメント委員会、医療安全管理委員会も開催し、この会議を通じて事例の分析や対策の検討を重ね、より安全な医療システムの構築にも努めています。

また、医療安全に関する院内研修会は、年25回程実施しており、職員一人ひとりの医療安全の知識や技術の向上に努めています。今年度は、医療機器の取り扱い、危険予知訓練、コード・ブルー訓練、事例分析、再現劇から学ぶ医療安全などを行いました。

医療事故及びヒヤリ・ハットの事例は、院内だけではなく病院局医療安全管理委員会へも報告し、県立4病院の情報共有を図り、4病院が共通して抱える諸課題にも取り組んでいます。

県立病院で発生した医療事故及びヒヤリ・ハット事例の公表は、群馬県のホームページ上に掲載されていますので機会がありましたらご覧ください。

(※「医療安全の取り組み」http://www.pref.gunma.jp/cate_list/ct00000767.html)



コード・ブルー訓練



事例分析

「大型からくり時計」が寄贈されました

太田西ライオンズクラブ様から、がんセンターに訪れる患者様、ご家族の方々の心を少しでも和ませたいと、「大型からくり時計」が寄贈されました。昨年11月17日の太田西ライオンズクラブ結成30周年記念大会において、大澤知事が日録を受領し、本年1月9日に、からくり時計の受納式を行いました。からくり時計は、縦40センチ、横50センチほどのドイツ製。民家をかたどったもので、1時間ごとに、人形や水車の飾りがオルゴールの音色に合わせて動くものです。がんセンターの玄関に設置され、利用者の心を和ませてくれます。太田西ライオンズクラブ様には、小出病院管理者から感謝状を贈呈させていただきました。



「からくり時計」除幕の様子



太田西ライオンズクラブ様

外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

平成25年2月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之		野川 秀之	山下 哲	
		血液	五十嵐忠彦	五十嵐忠彦 入沢 寛之	村山佳予子	村山佳予子 村田 直哉	五十嵐忠彦
		呼吸器	湊 浩一 (午後/禁煙外来)	湊 浩一		三浦 陽介	
	外科	消化器	福田 敬宏	福田 敬宏	尾嶋 仁 佐野 彰 宗田 真	尾嶋 仁 赤尾 敬彦 深井 康幸 佐野 彰 宗田 真	尾嶋 仁 深井 康幸 宗田 真
		乳腺	柳田 康弘 藤澤 知巳 塚越 律子 宮本 健志	柳田 康弘 藤澤 知巳 塚越 律子	乳腺科医師 (新来患者のみ)	乳腺科医師 (新来患者のみ)	
		呼吸器			藤田 敦 吉田 勤		藤田 敦
		形成	廣瀬 太郎 奥 美香子				廣瀬 太郎 奥 美香子
						ストマ外来	
第二外来	婦人科	平川 隆史 伊吹 友二	平川 隆史 伊吹 友二			鹿沼 達哉 婦人科医師	
	歯科口腔外科	山根 正之 川俣 綾		山根 正之 川俣 綾		山根 正之 川俣 綾	
	頭頸科	鈴木 政美 岡田 隆平 (午前再診)		鈴木 政美 新國 摂 (午前再診)		鈴木 政美 新國 摂 (午前再診)	
				鈴木 政美 岡田 隆平 (午後新患)		鈴木 政美 岡田 隆平 (午後新患)	
	麻酔科	高橋 利文			猿木 信裕		
	泌尿器科	清水 信明 蓮見 勝	清水 信明 濱野 達也			蓮見 勝(午前) 濱野達也(午前)	清水 信明
泌尿器科医師 (午後、新患のみ)		泌尿器科医師 (午後、新患のみ)				(ストマ外来)	
放射線科	放射線	玉木 義雄 吉田 大作 工藤 滋弘	玉木 義雄 吉田 大作	玉木 義雄 吉田 大作 工藤 滋弘	玉木 義雄 吉田 大作 樋口 啓子	玉木 義雄 吉田 大作 工藤 滋弘	

インフルエンザ感染防止のお願い

- ★ 現在、インフルエンザが流行していますので、ご家族等の方の面会はできるだけ控えていただくようお願いします。
- ★ 特に、咳や発熱等の症状がある方、抵抗力の弱い子供さん(12歳以下)や高齢者の方はご遠慮ください。
- ★ なお、来院される方は、マスクの着用と手指消毒をお願いします。

診察予約 (初診、再診ともに予約制です。)

● 初診紹介予約制について
当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

● がん検診について
当センターでは、がんの検診(一次検診)は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行ってあります。

予約電話 0276-38-0771

- 受付時間: 午前9時から午後5時(休診日を除く)
- 電話予約は診察を希望する日の1か月前から前日の午後1時までにお申し込みします。

※ 休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

入院者の面会時間 午後0時30分~午後7時30分



〒373-8550 太田市高林西町617-1
TEL 0276-38-0771 (代)
FAX 0276-38-0614
URL <http://www.gunma-cc.jp>

